

令和 3 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 2 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	63	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	1 子どもたちの体力向上			

事業名		社会体育一般事業													
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係													
目的	誰を・何を(対象)	住民													
	どのようにしたいか(意図)	スポーツへの関心を高めます。													
事業費(千円)		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比(%)			2021 年度予算額 対前年比(%)							
		7,126			2,620 37%			7,419 283%							
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0							
	受益者負担	0			0 0			0 0							
	その他特定財源	0			0 0			0 0							
	一般財源	7,126			2,620 37%			7,419 283%							
評価指標		2018			2019			2020			単位				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率					
指標①		東浦マラソン参加者数									人				
		2,615	4,000	65%	2,296	3,000	77%	—	3,000	—					
指標②		—													
				0			0			0					
主な事業内容		・東浦マラソン中止(12月第3日曜日、あいち健康の森公園メイン会場) ・スポーツ少年団駅伝大会の実施(於大公園) ・ランニングイベント(大府市、愛三工業と合同)の実施(7月高校生以上、3月小学生以下) ・全国大会等出場者に対する激励金交付事業の実施(R2～5千円) ・スポーツ協会への補助金の交付 ・スポーツ少年団への補助金の交付													
成果		・激励金交付について、交付にあたって激励会等を行い、町広報や新聞社等のメディアに掲載することによって、スポーツへの関心を高めることができた。(交付回数:個人12、団体数1) ・スポーツ協会、スポーツ少年団へ補助金を交付することにより、地域におけるスポーツ活動を活性化することができた。													
課題		・東浦マラソンでは参加者 数が年々減少傾向にある他、運営事業収入4分の1を占める企業からの協賛金が減少しています。 ・ランニングイベントでは、中学生の参加区分がありません。(部活動があるため) ・スポーツ協会登録者数が減少しています。													
評価視点												総合評価			
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討 B			
		○			○			○							
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い				
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等									
成果の方向性	拡充					・東浦マラソンについて、参加者や企業からの協賛金の減少を見込みつつ、他市町の実施状況を参考に運営費を見直します。また、コロナウイルス感染拡大防止対策を行った大会運営を行います。 ・ランニングイベントについて、中学生も参加できるよう、参加区分を見直します。 ・スポーツ協会について、登録者を増やすため広報やHP等で活動の周知を図ります。									
	現状維持			○											
	縮小														
	休廃止														
		皆減	縮小	現状維持	拡大										
		コスト投入の方向性													

令和 3 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 2 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	63	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	2 高齢者の運動による健康への意識醸成			

事業名		スポーツ推進委員事業										
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	住民										
	どのようにしたいか(意図)	スポーツ推進委員が指導するスポーツイベントに参加してもらうことにより、健康増進の意識を高め、体力を向上させます。										
事業費(千円)		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比(%)			2021 年度予算額 対前年比(%)				
		2,392			2,470 103%			2,594 105%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	2,392			2,470 103%			2,594 105%				
評価指標		2018			2019			2020			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		スポーツイベント参加者数									人	
		255	380	67%	300	380	79%	—	380	—		
指標②		みんなでスポーツを楽しむ会 開催回数									回	
		103	144	72%	97	144	67%	77	144	53%		
主な事業内容		・スポーツイベントの開催 ・体育の日イベント、スポーツフェスタ東浦、カローリング大会、ウォーキング大会 ・みんなでスポーツを楽しむ会の開催 ・各地区でのスポーツ推進活動										
成果		住民の健康増進の意識を高め、体力向上に寄与しました。 ・スポーツイベント開催回数: 1回 (参加人数 ウォーキング大会: 27名) ・みんなでスポーツを楽しむ会開催回数: 77回 (開催回数内訳 卯ノ里小: 22回、片葩小24回、生路小: 7回、藤江コミュニティセンター: 24回)										
課題		・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実績は昨年より少なくなっていますが、例年参加人数が伸び悩んでいます。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できない期間があったため、例年より実績が減っていますが、各地区での開催回数や参加人数に偏りがあります。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休止を検討 B		
		○			○		○					
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い			やや高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				・広報やHPだけでなく、広告を作成して学校やサークル活動をされている方々へアピールするなど、広報活動の幅を広げます。 また、他団体(コミュニティ・学校等)とイベントを共催するなど参加者の拡大に努めます。 ・スポーツイベントについて、住民のニーズを把握し、ニュースポーツ等の魅力あるスポーツを推進します。 ・みんなでスポーツを楽しむ会について、スポーツ推進委員だよりを戸別配布し、参加者拡大に努めます。							
	現状維持		○									
	縮小											
	休止											
コスト投入の方向性												

令和 3 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 2 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	63	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	1 子どもたちの体力向上			

事業名		生涯スポーツ振興事業費									
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を（対象）	住民									
	どのようにしたいか（意図）	運動の機会を増やし、体力を向上させるとともに、運動による健康増進への意識を高めます。									
事業費（千円）		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比（％）			2021 年度予算額 対前年比（％）			
		1,901			558 29%			2,210 396%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	481			0 0%			630 0			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	1,420			558 39%			1,580 283%			
評価指標		2018			2019			2020			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標 ①		スポーツ教室への受講者数									人
		268	280	96%	201	280	72%	—	280	—	
指標 ②		スポーツ指導者養成講習会への延参加者数									人
		137	180	76%	167	180	93%	100	180	56%	
主な事業内容		・住民向けのスポーツ教室の実施 ・児童の体力向上プロジェクトの実施 ・高齢者向けの体力測定（てんとう虫テスト）の実施 ・小中学校運動部活動に対する外部指導者派遣の実施 ・スポーツ指導者向けの講習会の実施									
事業実績		・高齢者向けの体力測定（てんとう虫テスト）を実施することで、参加者へ介護予防に対する意識づけを行うことができた。（実施回数1回） ・町内小学校の運動部活動に対して外部指導者24名を派遣することで、部員に対し専門的な指導ができ、学校部活動を充実させることができた。（派遣数24名）また、派遣先小中学校の教員の負担を軽減することができた。 ・スポーツ指導者養成講習会を実施することで、地域スポーツの指導者の素養を育むことができた（全6回）									
課題		・スポーツ教室について、大人向け教室の参加人数が少ないため、開催する講座の内容を工夫する必要があります。また、申込が窓口記述式のため、窓口対応と申込入力作業等で業務が煩雑化しています。 ・てんとう虫テストについて、参加者数が伸び悩んでいます。 ・学校における休日部活動の段階的な地域移行に伴い、受け入れ体制が必要です。									
評価視点										総合評価	
必要性				有効性				効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討	
		○			○			○		B	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い		
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					・講座の受付手続等にあいち電子申請システムを活用するなど、インターネット上での手続や、非対面での手続を進めることで窓口事務負担と担当業務の軽減を図ります。					
	現状維持			○		・依頼を受け、テストを実施することが多いため、今後は高齢者の集客が見込まれるイベント等へ出向き、参加者を増やします。また、高齢者相談支援センター、スポーツ推進委員、健康課等関係機関と連携して、てんとう虫テストの周知・啓発を行います。					
	縮小					・地域の活動団体の把握やスポーツ指導者人材バンクを活用するなど、受け入れ体制の確保に努めます。					
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大						
		コスト投入の方向性									

令和 3 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 2 年度)

事業名		生涯スポーツ振興事業		担当課	スポーツ課 スポーツ係			
No.	細事業名	概要			2020(R2) 年度 決算額 (千円)	2021(R3) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	スポーツ団体・指導者 支援事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	スポーツ団体への補助金交 付や、指導者の育成・派遣	スポーツ活動に参加しやすい 環境の充実を図ります。	558	850	現状維持	現状維持
2	生涯スポーツ振興事 業	住民	イベント等の開催・子ども向け のスポーツ面での支援	スポーツを始めるきっかけづく りや健康への意識醸成、子ど もの体力向上等を図ります。	0	1,360	現状維持	現状維持
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					558	2,210	現状維持	現状維持

令和 3 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 2 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	64	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	1 子どもたちの体力向上			

事業名		体育館・はなのき会館管理事業										
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を（対象）	体育館及びはなのき会館										
	どのようにしたいか（意図）	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。										
事業費（千円）		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比（％）			2021 年度予算額 対前年比（％）				
		22,672			30,633 135%			33,056 108%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	2,903			2,936 101%			3,352 114%				
	その他特定財源	156			104 67%			193 186%				
	一般財源	19,613			27,593 141%			29,511 107%				
評価指標		2018			2019			2020			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標 ①		延べ利用者数									人	
		77,458	76,996	101%	72,099	77,000	94%	48,658	72,000	68%		
指標 ②		—										
				0			0			0		
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、体育館及びはなのき会館の利用受付と維持管理を行います。										
成果		【R2.3/5～R2.6/15まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館。また、R3.1/15～R3.2/28は利用時間を短縮し閉館】 利用件数および利用者数 体育館 H30:5,198件/70,315人 R1:4,803件/65,654人 R2:4,210件/46,734人 はなのき会館 H30:395件/7,143人 R1:333件/6,445人 R2:170件/1,924件 施設の維持・管理（修繕）件数 体育館駐車場修繕はじめ11件 施設の維持・管理（業務委託）件数 電気施設保守点検業務はじめ6件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安全・快適に使用できる状態を保持できています。										
課題		・施設、付属設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修などが必要ですが、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。 ・町スポーツ協会の加入者数の減少や少子化の影響等で、施設利用者が減少しています。 ・施設利用中止時の利用者への個別連絡に時間がかかり、負担になっています。 ・予約管理体制がシステムと紙台帳が混在しているため、受付や集計業務に時間を要します。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				B
		○			○			○				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					・町公共施設個別施設計画に沿って、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、各種助成金制度の活用するなど財源の確保に努めます。 ・近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。 ・ホームページを活用し、より多くの利用者に情報を周知します。 ・紙台帳のものはシステムへ移行します。また、申請、承認に伴う様式などを見直し、窓口業務の時間短縮など事務の効率化に努めます。						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	63	頁
	施策	2 スポーツ振興			取組	3 スポーツ活動団体の育成					

事業名		学校体育施設スポーツ開放事業											
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係											
目的	誰を・何を(対象)	町内小中学校の体育施設											
	どのようにしたいか(意図)	住民が身近でスポーツに親しみ、交流する場とします。											
事業費(千円)		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比(%)			2021 年度予算額 対前年比(%)					
		1,937			1,110 57%			651 59%					
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0					
	受益者負担	1,480			1,034 70%			651 63%					
	その他特定財源	0			0 0			0 0					
	一般財源	457			76 17%			0 0%					
評価指標		2018			2019			2020			単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		延べ利用者数									人		
		81,913	86,000	95%	83,155	86,000	97%	58,184	86,000	68%			
指標②		登録団体数									団体		
		99	100	99%	95.0	100	95%	104	100	104%			
主な事業内容		町内の各小・中学校の体育館や運動場を学校教育の運営に支障のない範囲内で、住民が利用できるように開放しています。											
成果		【R2.2/28～R2.6/30まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため開放中止。R3.1/15～R3.2/28まで夜間開放中止。】 既存団体を含め、空き状況を周知し新規登録団体の増加に努めました。											
		団体数(団体)	利用回数(回)	延べ利用者数(人)	登録者数(人)								
		H30	99	4,429	81,913	3,628							
		R1	95	4,366	86,375	3,570							
		R2	104	2,963	58,184	3,325							
課題		・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い開放を中止していた期間があるため、利用回数及び利用者数ともに減少しています。利用申込の受付期間が2月から3月までの1か月のみのため、年度途中からの利用ができません。 ・登録や利用中止に関する事務が煩雑です。また、予約管理体制が紙台帳のみのため、情報の集約に時間がかかります。											
評価視点										総合評価			
必要性			有効性			効率性				B			
低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い			○	高い
低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い			○	高い
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					・利用申請受付を10月にも行い、利用団体数の増加に努めます。 ・ホームページを活用し、より多くの利用者に情報を広く周知します。また、事務の効率化を図るため、メール等の電子媒体での申請書提出、施設管理を紙台帳からシステムに移行します。							
	現状維持				○								
	縮小												
	休廃止												
コスト投入の方向性													
皆減 縮小 現状維持 拡大													

令和 3 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 2 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	64	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	4 スポーツ施設の整備			

事業名		グラウンド・コート管理費										
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	グラウンド・コート										
	どのようにしたいか(意図)	住民が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、維持管理を行います。										
事業費(千円)		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比(%)			2021 年度予算額 対前年比(%)				
		15,186			17,623 116%			28,124 160%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	7,255			7,223 100%			7,800 108%				
	その他特定財源	79			60 76%			59 98%				
	一般財源	7,852			10,340 132%			20,265 196%				
評価指標		2018			2019			2020			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		グラウンド・コート延利用者数									人	
		117,058	136,200	86%	107,339	136,200	79%	87,495	136,200	64%		
指標②		—										
				0			0			0		
主な事業内容		町内に設置している以下の体育施設の維持管理を行います。 《管理施設》 町営第1グラウンド、町営第2グラウンド、南部グラウンド、北部グラウンド、西部グラウンド、文化広場テニスコート、岡田川テニス場、東浦みどり浜緑地多目的広場										
成果		【R2.3/5～R2.5/31まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止。また、緊急事態宣言発令中は利用時間を短縮し再開】 利用件数および利用者数 グラウンド H30:2,203件/79,390人 R1:1,952件/67,908人 R2:1,782件/58,365人 テニスコート H30:5,565件/37,668人 R1:5,328件/39,431人 R2:4,850件/29,130人 施設の維持・管理(修繕)件数 第2グラウンド給水管漏水修繕はじめ 14件 施設の維持・管理(業務委託)件数 浄化槽維持管理業務はじめ4件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に使用できる状態を保持できています。										
課題		各施設において建物、附属設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修等が必要です。また、これに伴って使用料の見直しが必要です。 町スポーツ協会の加入者数の減少や少子化の影響等で施設利用者が減少しています。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討		
		○			○				○	B		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い			やや高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					町公共施設個別施設計画に沿って、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、各種助成金制度を活用するなど財源の確保に努めます。さらに、近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。						
	現状維持			○		町とスポーツ協会やスポーツ少年団等がグラウンド等の草刈や清掃を行うことで、行政と協働で施設管理をすることができ始めているため、今後も取り組んでいきます。						
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	64	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	4 スポーツ施設の整備			

事業名		ふれあいセンター管理事業									
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	ふれあいセンター									
	どのようにしたいか(意図)	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。									
事業費(千円)		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比(%)			2021 年度予算額 対前年比(%)			
		24,940			45,118 181%			28,401 63%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	2,480			1,978 80%			2,500 126%			
	その他特定財源	48			48 100%			32 67%			
	一般財源	22,412			43,092 192%			25,869 60%			
評価指標		2018			2019			2020			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		施設延利用者数									人
		86,587	83,000	104%	82,049	83,000	99%	44,514	83,000	54%	
指標②		—									
				0			0			0	
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、北部・西部ふれあいセンター、藤江コミュニティセンターの利用受付や維持管理を行います。									
成果		【R2.3/5～R2.6/15まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館。また、緊急事態宣言発令中は利用時間を短縮し閉館】 利用件数及び利用者数 北部 H30:2,292件/30,680人 R1:2,010件/28,412人 R2:1,028件/14,702人 西部 H30:1,899件/26,452人 R1:1,805件/26,121人 R2:1,348件/13,479人 藤江 H30:1,884件/29,455人 R1:1,740件/27,516人 R2:1,191件/16,333人 施設の維持・管理(修繕)件数 藤江コミュニティセンター雨樋修繕はじめ28件 施設の維持・管理(業務委託)件数 電気設備保守点検はじめ9件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に使用できる状態を保持できています。また、北部ふれあいセンターでは、外壁塗装工事を行うことで、施設寿命を延伸することができました。									
課題		施設や設備の老朽化が進んでいます。また、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。これに伴って使用料の見直しが必要です。									

評価視点										総合評価			
必要性			有効性				効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
		○				○						○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い			やや高い	高い
										B			
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					町公共施設個別施設計画に沿って、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、各種助成金制度を活用するなど財源の確保に努めます。さらに、近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。							
	現状維持				○								
	縮小												
	休廃止												
		皆減	縮小	現状維持	拡大								
		コスト投入の方向性											